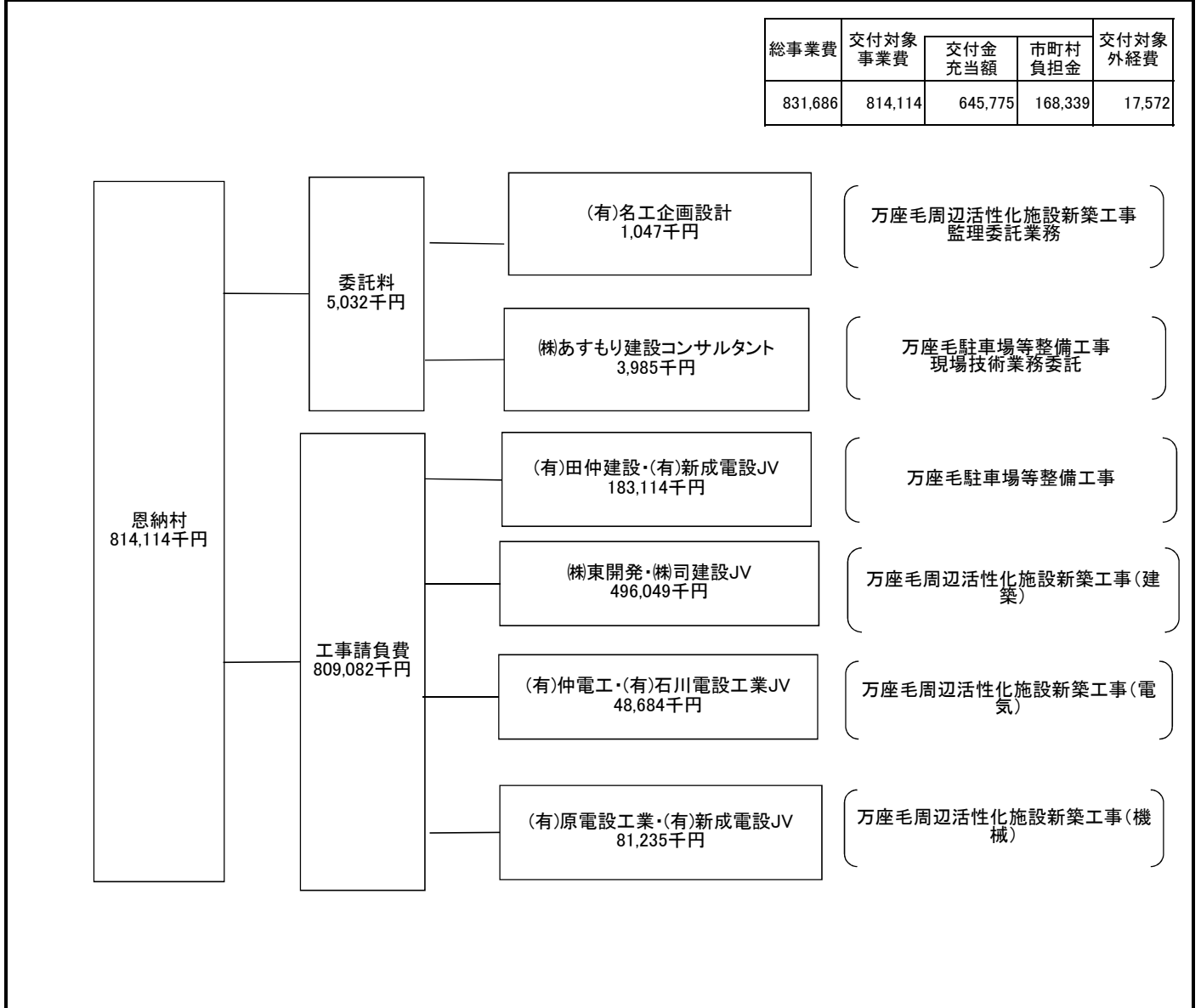


市町村名		恩納村					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	万座毛周辺活性化施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設課		事業実施(予定)年度	平成24～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	万座毛へ来訪する観光客の増加を図るため、休憩所や地域の特産品販売所、展望台等の機能を有した観光拠点施設及び駐車場を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	
		(a)当初予算額	113,740	856,494			
	(b)予算現額	66,360	814,114				
	(c)増減額(b-a)	▲47,380	▲42,380	0			
	(d)繰越額	-	-	627,015			
	A.計(b+d)	66,360	814,114	627,015			
	B.執行済額	55,123	187,099	627,015			
	うち交付金充当額	44,098	149,679	496,096			
	次年度繰越額	-	627,015	-			
	執行率(%) (B/A)	83.1%	23.0%	100.0%			
予算の状況の説明	全国的な技術者の不足等の要因から入札不調となり、技術者を確保するための工期の見直しに不測の日数を要したため、年度内の完了が困難となったため、工事費にかかる627,015千円を令和元年度に繰越した。関係者と調整し、資材の一部を変更し繰越工期内の執行に努めた。						
活動目標(指標)及び達成状況	30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	駐車場整備工事の実施(面積:16,744㎡)	目標	()	(工事の実施)	()	()	
		実績		工事の完了			
観光拠点施設の建築及び外構工事の実施(建築面積:1,963㎡)	目標	()	(建築工事・外構工事の実施)	()	()		
	実績		建築工事・外構工事の実施				
達成状況説明	平成30年11月に入札を実施したが不調に終わったため、設計書や図面などを見直し、平成31年2月に再度入札を実施し落札者が決定した。平成31年2月21日に議会の議決を得て、工事に着手できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	第1駐車場(路盤工まで)の完成	目標	()	(工事の完成)	()	()	()
		実績		工事の完成			
	第2駐車場の完成	目標	()	(工事の完成)	()	()	()
		実績		工事の完成			
	建築工事の進捗10%	目標	()	(建築工事の進捗10%)	()	()	()
		実績		建築工事の進捗53%			
	【R3成果目標】施設の年間利用者数102万人	目標	()	()	()	()	(102万人)
実績							
進捗状況説明	入札不調により着手が遅れた影響で、工期に大幅な見直しが必要になった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・入札不調により大幅に着手が遅れた。また、全国的に建設資材の納期遅延が発生しており、工期の見直しが必要である。</p>	<p>・建設資材の納期遅延は相当な数になっており、材料の変更など臨機に対応しなければならない。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・建設資材の納期遅延は、4か月の資材から1年以上の資材まであり、工期に間に合うのか、代替が必要かを検証し、工期への影響を最小限になるようにかつ、安全に工事が実施されるよう努める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模は概ね適正であったと考える。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	